

## Proxima 【PW-7700 取扱説明書】 (1. 8m)

本品はProximaシリーズ最高級の電源ケーブルで、PW-7000待望の7N化版です！  
7N化に併せて、この良さを最大限引き出すよう分割式導電処理等、更なる改良を加えました。  
6N版と比べると、明らかにひずみ感が少なく、且つリアリティーが高く、また一步未踏の領域へ近づくことが出来ました。

プラグ & コネクターはジョデリカ製純銅タイプです。弊社でも、以前はこの無メッキ銅プラグ類の良さは認識出来ませんでした。導体のグレードが上がるにつれ、色付けの無さ、音のしなやかさが際立つようになり、今では欠かせないパーツのひとつになりました。

(プラグ類のメッキによりトーンバランスを調整するのは比較的容易なことですが、最も大切な解像度を損なう結果になりがちです)

PW-5000(旧製品)が6N銅ポリオレフィン(市販品としては最高グレード)被覆であったのに対し本品ではシリコン含浸綿被覆を採用しています。("電源"としての安全面の配慮もごさいます)  
シリコンは現在入手できる最良の「オーディオ素材」ですが綿と組み合わせた製品は皆無です。  
綿シースに導線通し、シリコン掛け等、導線作りから手作業のため大変な手間(一種の3Kワーク)が掛かりますが、それに充分見合うものがあります。

シャープで瑞々しい音はシリコン綿以外では望むべくもなく、まさに"究極のケーブル"といえます。  
本品は贅沢にもこの導線をパラ使用しハイパワーのアンプにも余裕をもって対応致します。

(シングル配線とは文字通り音の力強さが異なります！)

外装は綿(一部麻混紡)の無染色版を標準仕様と致します。(PW-5000は薄く染色していましたが、本品のグレードでは最良の染料で極めて薄く染色しても音質劣化が認められるため、染色は基本的には廃止致しました)

次に本品は音が良く使いやすい2P構造です。3P式でアースを落としても音が良くなるとは限りません。  
3Pアースが繋がることで、筐体内のノイズ電流が増え、音質が悪化するケースが多く観られます。  
アースは筐体のどこか適当な所からワニ口コード等で壁コン・ターミナル(マンションではサッシュウ枠のネジも可)につなげ、比較試聴することをお勧めします。

プラグの極性も一定のルールはございません。お客様の好みで方向を選択して下さい。  
プラグブレードの赤マークはLINE(いわゆるホット)側ですがあくまで参考のために付けてあります。  
また、電源ケーブルは使用機器に依って、差が出やすいものと、比較的差が出にくいものがございますので、一度各機器でご確認することをお勧めいたします。(一般にパワーアンプは差が出やすいものが多いようです。 ご注意！ 「お客様の想定外の機器に繋げてベストの結果になることもあります」)

なお天然繊維類は吸湿性があり、これが音の良さの要因のひとつになっています。  
このため冬場の乾燥時には少し音が悪くなる傾向があるため、外装綿に帯電防止処理を行い音の安定化を図っています。本品の処理は永続性がありますが、濡れ雑巾等での清掃は帯電防止効果が変わってしまう危険性がありますので絶対にお止めください。汚れが気になる時はブラシ等でホコリを落とす程度に抑えてください。(外装がさらに毛羽だっても全く悪影響はありません)

本品の外装は余裕を持たせた造りですが、これは各線間容量の低下と外装の影響自体を最小にする(外装の良さのみを活かす)ためです。(別紙の『PW-7700の音質チューニング法』をご参照下さい)

また参考までに、電源ケーブルには音質面から最適な長さがございます。  
本ケーブルも長さ指定のご希望があれば作製致しますが、長短（3m、70cm等）いずれも標準品とは若干、音質が異なってしまいます。

壁コンに届かない場合は一般の（安価な）延長タップと組み合わせても全く問題ありません。

（これが実に不思議！ …いまだにメーカーでも分からないことが沢山あります）

逆に長く邪魔な場合は丸めて、太めのたこ糸等で軽く縛って使うことをお勧めします。

## 〔仕様〕

◎プラグ	ジョデリカ ETP-850CU
◎コネクター	ジョデリカ ETP-320CU
◎線材	7N純銅撚り線 太さAWG14相当 絶縁被覆 無着色シリコン含浸綿シース
◎外装	綿麻混紡導電処理済みシース
◎直流抵抗値(往復)	約55mΩ
◎重量	約230g
◎定格電流	10A

使用上、不明な点あるいは御意見がございましたら、下記メール等をご利用ください。

### 株式会社 日本オーディオ

〒111-056 東京都台東区小島2丁目1番11号 三源ビル801号

TEL 03-5825-4344

FAX 03-5825-4669

E-mail: [nipaudio@netlaputa.ne.jp](mailto:nipaudio@netlaputa.ne.jp)

URL: <http://nipaudio.com/>

## 『PW-7700の音質チューニング法』

以前から弊社の電源ケーブルでは外装の張り方で音の違いが出るのが判り、チューニング方法を指示しておりましたが、PW-7700で7N線に変わり導電処理法が大幅に変わったことにより外装の影響も大きく変化しました。

検証の結果、図のようにプラグ側の外装を引き延ばしコネクター（機器）側に寄せ集めることで、音抜けが良くなり音場感もアップすることが確認できました。

製品は均等に張った状態で出荷しておりますが上記の方法で音質の調整が出来ますので、是非一度お試し下さい。（図は少し誇張しています）

